

NEW AGE 2024 10 vol.15 MEDICINE

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

IVCリオルダンアカデミー開催報告

点滴療法研究会マスタースクラブ副会長

松村 浩道先生

点滴療法研究会マスタースクラブ副会長

森永 宏喜先生

点滴・栄養療法 症例報告

田中クリニック 院長

田中 善先生

東京予防医療クリニック 院長

森 吉臣先生

会員クリニックのご紹介

vol.11 フェリシティークリニック名古屋

点滴療法研究会コラム
クリニックの広告戦略

2025年開催セミナー情報
最新海外・国内医学情報

リオルダン in JAPAN IVCアカデミー

2024
開催報告

松村 浩道

(鎌倉元氣クリニック 院長 / 点滴療法研究会 副会長)

秋も深まる9月29日、実に7年ぶりとなるリオルダンIVCアカデミー in Japan 2024が五反田シティホール&ギャラリーにて盛大に執り行われました。

講師はお馴染み、高濃度ビタミンC点滴療法の聖地・リオルダンクリニック所長のロナルド・ハニハイキ先生、そして同クリニック特別顧問のトーマス・レヴィ先生です。

当研究会会長・柳澤厚生先生の冒頭の挨拶では「前日の打合せの際、講師のお二人が『明日の講演はダイナマイトだよ!』と話していた」とのコメントがあり、否が応でも期待が高まります。

トップバッターのレヴィ先生は「毒素がすべての病気を引き起こす」というテーマで3回に分けてお話しくださいましたが、その予告通り、のっけから私たちの常識が覆されました。毒素の本質は酸化の促進であり、毒素が他の分子から電子を奪わなければ毒素としては機能しません。一方、ビタミンC (VC) が健康に良い影響をもたらすのは、還元型VCが体内に電子を与えるからと考えがちですが、実はそうではないらしいのです。体内の電子プールを増やす働きを持つのは電子を豊富に持つ食事だけであり、VCIは酸化型 (DHAA) でも還元型 (AA) でも、細胞や組織にすでに存在する電子を最適に分配し流すことができる点においては同等で、むしろDHAAの方が腸管からの吸収率が高いことや、細胞内に入り込む際に必要なエネルギーもAAより少なく済むというお話は、まさに目から鱗が落ちる思いでした。これはほんの一部ですが、レヴィ先生が豊富な論文を通して示してくれた数々のトピックスに、講演中いったい何度大きく頷いたかわかりません。

ランチタイムには、「VCリポソーム製剤・脅威の真実」と題したレヴィ先生によるランチョンセミナーが、株式会社SPIC主催にて行われました。バイオアベイラビリティ（生体利用率）の観点からみた静注にも勝るとも劣らないリポソームの優位性など、短い時間ながらリポソーム製剤の全貌が明らかにされました。



松村 浩道先生
点滴療法研究会 副会長 / 鎌倉元氣クリニック 院長

平成5年日本医科大学卒業。同大学付属病院麻酔科学教室、関東通信病院(現NTT東日本関東病院)ペインクリニック科、医療法人誠之会 氏家病院ペインクリニック科・精神科、医療法人社団藍風会江の島弁天クリニックを経て、平成29年10月スピッククリニック(現 鎌倉元氣クリニック)院長。

著書に「対人関係のイライラは医学的に9割解消できる」(マイナビ出版)「脳腸相関で未病を征す」(七星出版)がある。



講演の様子

一方、ハニハイキ先生が掲げたのは「がんの謎の解明」、がんという癒えない傷の本質に如何に迫るか、という壮大なテーマです。その謎を解く鍵の一つが「真菌」で、「Fungus Among Us」という韻を踏んだ秀逸な言葉遊びが、講演内容を見事に象徴していました。

講演では、真菌のDNAとヒトのそれとは98%が相同であること、真菌感染したがん細胞においてはヒトのDNAと真菌のDNAがハイブリッド化されるため、免疫系が非自己だと認識できないこと、35種類のがんから真菌DNAが検出されていることなどを、真菌学者の著作や論文を紹介しながら示されました。

さらにハニハイキ先生は「私たちはIVCで多くのがん患者を治療してきたが、本当はがんそのものではなく、原因としての感染症、特に真菌感染を治療してきたのではないかと振り返ります。誤解を恐れずに言えば、真菌が宿主の細胞を乗っ取ると免疫抑制、炎症、鉄過剰状態、乳酸アシドーシスなどが起こりますが、このいずれにもIVCが効果を示すということです。さらに、さまざまな抗真菌薬ががん治療に有効である可能性について、論文や自験例を基に解説してくださいました。

一日がかりだったにも関わらず文字通り矢のように過ぎた時間でしたが、お二人の講演はまさにダイナマイトと呼ぶに相応しい大きな衝撃を会場中にもたらしたようで、当日お目にかかった先生方は口を揃えたように「素晴らしいかった、本当に参加して良かった!」と感激していました。

気の早い話ですが、今から次回のリオルダンIVCアカデミーが楽しみでなりません。



25 社以上の協賛企業が出展されました



左から柳澤会長・姫野先生・ハニハイキ先生・レヴィ先生・松村先生・森永先生

森永 宏喜

(森永歯科医院 院長 / 点滴療法研究会 副会長)

2024年9月29日、シティホール&ギャラリー五反田(都内品川区)で「リオルダンIVCアカデミー2024」が2017年以来7年ぶりに開催されました。講師にお迎えしたのは7年前と同じリオルダンクリニック所長のロナルド・ハニハイキ先生と、リオルダンクリニックコンサルタント、心臓専門医、弁護士であるトーマス・レヴィ先生です。お二人はビタミンC点滴療法や予防医療の分野で世界的に評価されている研究者であり、ご自身の豊富な臨床経験と研究成果をもとに、最新の治療法やエビデンスを詳細に解説して下さいました。

開会の挨拶に登壇した柳澤会長は「昨夜お二人と話した時、『明日の講演はダイナマイトだ』とのことだった」とコメント。「何がダイナマイトなのだろう?」と腑に落ちないまま第1講が始まったのですが、その疑問はすぐに氷解することになりました。レヴィ先生が説く酸化還元生物学の原理(Redox Biology Principles)の数々が、目から鱗を通り越しまさに「衝撃」だったからです。

一例をあげると

■ビタミンC(VC)のような抗酸化物質の主な影響は体内に新しい電子をもたらすことではない。

■還元型でも酸化型でも体内のVCを増やすことで既に存在する電子を最適かつ継続的に分配し、流すことが出来る。

■電子をもたらすのは食物や地球(大地)、適切な磁場である。

■VCを経口摂取する場合、還元型でなく酸化型でも同様に効果的。むしろ酸化型の方が吸収性は良い。

など、今まで当然と思っていたことの多くが覆されること

になりました。最初のレクチャーが終わったとき、隣席の松村副会長と「いきなり炸裂しましたねえ!」と顔を見合わせたほどです。

我々に衝撃を与えたという意味ではハニハイキ先生も同様です。がんを「治らない傷」にたとえ、「傷の状態を述べた定義は多く存在するが、傷が癒えない真の原因は特定できていない」と問題提起します。真の原因のひとつは真菌感染であるという結論に驚く私たちに「今日の講演は決定

的な回答を提供するものではないが、がんの発生と増大、転移の一連のプロセスが真菌感染(ヒトDNAと真菌DNAが合体しハイブリッド化する)によって説明できる」「がん患者にIVC治療を行う、それは真菌感染を治療しているのである」と結び、現在行われているがんの標準治療が目の前の現象に対処しているに過ぎず、真の原因を除去する根本療法になっていないとの大きな課題を投げかけられたのでした。

その他にもレヴィ先生はCOVID-19対策、ハニハイキ先生は創傷治癒の体内レドックスモデルなど興味深く重要なテーマについて話されましたが、全てのスライドにコメントするには時間が足りない状況でしたが、詳細に掘り下げていったら何日費やされることか、というほど充実した資料となっていましたから、区切りとしてはやむを得ないでしょう。

レクチャー終了後の質疑応答では、具体的な臨床応用に関する質問が多数寄せられ、非常に丁寧に回答して頂いたことはご参加の先生方に印象深く映ったはず。最後に記念撮影をさせて頂き、12月のアメリカ・アンチエイジング医学会総会(The Longevity Fest 2024)に参加されるレヴィ先生とは「See you soon in Las Vegas!」と握手してお別れしました。

帰宅して前回(2017年)のテキストを紐解いてみると、お二人とも今回とかなり近いテーマを扱われているものの、その内容は大きく進化していました。7年の歳月を実感するとともに、数年後にまた開催されるだろう次回が本当に楽しみに感じます。

本アカデミーはアーカイブ配信はありません。今回受けた衝撃は、リアル会場に参集いただいた先生方の特権となりました。ご都合のつかなかった先生は、次回是非ご参加頂くことをお勧めいたします!



森永 宏喜先生 点滴療法研究会 副会長 / 森永歯科医院院長 / 米国アンチエイジング医学会 認定歯科医師
1963年: 千葉県生まれ
1988年: 東北大学歯学部 卒業
東京医科歯科大学歯学部 第一口腔外科 入局
1992年: 医院を継承(千葉県蘇南町)
2009年: 近隣に移転開業
2013年: 点滴療法研究会(JCIT) 高濃度ビタミンC点滴療法 認定医
2015年: 米国アンチエイジング医学会(A4M) 認定歯科医師 (ABAAHP)、日本抗加齢医学会 専門医
2019年: JCIT ボードメンバー、日本アンチエイジング歯科学会 常任理事・認定医

ご参加された先生との集合写真



高濃度ビタミンC点滴療法(VC25)の症例報告



医療法人仁善会
田中クリニック 理事長

田中 善 先生

【略歴】

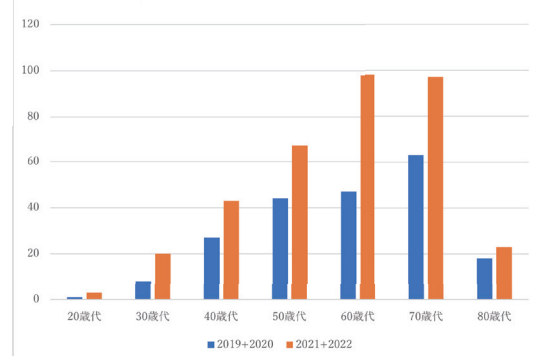
鳥取大学 医学部医学科 卒業。
医学博士(大阪大学)。
大阪大学 第一内科(腎臓内科)、大阪厚生年金病院 腎臓内科
医長を経て、医療法人仁善会田中クリニック 理事長に就任。
日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透
析医学会透析専門医、日本医師会認定産業医、健康スポーツ
医。点滴療法研究会ボードメンバー
(一財)腸内フローラ移植臨床研究会代表理事
(一社)日本先制臨床医学会理事
(一社)日本オーソモレキュラー医学会理事
(一社)老化制御医学会理事
(一社)日本臨床培養上清研究会理事

私のクリニックでは、17年前点滴療法研究会発足
当時から、柳澤厚生会長にご指導いただき、主にか
んの患者さんの治療を行ってきました。その時以来、
高濃度ビタミンC点滴療法(IVC)を基本に据え、多く
のがん患者さんを診てきました。経験上、IVCをほぼ
すべてのがん患者さん(胸水、腹水など体液過剰の
場合以外)に使用し、良好な結果、QOLの改善を得
られたことは間違いなくと思います。

さて、昨今とくに新型コロナウイルス感染症が蔓延
し、さらにmRNAワクチンが日本国民の80%は接種
しているという状況で、私のクリニックでの初診がん
患者さんは2倍近くになっているという事実がありま
す。当然、相対的に比較的若年層にも多くなってい
ます(表1、図1)。がん患者さんの増加とともに免疫
低下の状況があり、急速に進行する患者さん、今ま
で落ち着いた病状であったのが急に再発・転移と診
断された患者さんが多くなっている印象です。

このような状況で、私たちのがん統合医療を実践
している医師をはじめとする医療者はIVCを基本に
して、患者さんに応じた有用な治療を提供していく
個別化がん医療を実践していかなければなりません。し
かし、自由診療としてのがん統合医療には、費用の
面、時間的な面、主治医との関係、保険診療との関
係、Stageはどうか(再発や転移)、栄養状態や免疫
状態はどうかなど多くの障害となることがあり、この
がん患者さんには有用だと思っていてもすべてを施
行することはできないことが度々あります。そこで、
IVCは胸水、腹水などの体液過剰状態以外では適
応範囲が広く、受診される約90%のがん患者さんは
適応になると思います。がんへの直接傷害する効果
のみならず、QOLの改善には非常に有効です。また
他の治療法とも併用できることがメリットです。

図1 最近4年間の田中クリニック初診の年齢別がん患者数



当院では、IVCは防腐剤などの添加物が入っていない外国製（現在はマイラン社製）を使っていますが、最近柳澤会長のご尽力で国内製の無添加のVCが試薬として使えるようになりました。粉末製剤で使用前に注射用水で溶解しなければなりません、簡単に溶解しますのでそれほどの手間はかからないと思いますし、海外製と違って冷蔵で運搬する必要がなくほぼ常温で保存できます。コストの面でも海外製よりも安く手に入れることができます。最近、当院でも国内製VC (VC25) を使用しており、血中濃度の上昇や副作用に関しても海外製と比べても問題なく使用できています(表2)。

以下に、現在入院治療を受けておられる患者さん、他の治療を受けていて現在当院に通院されていない患者さん、他の施設に移られた患者さんは除外していますが、最初から現在までVC25を使用している(約6か月)患者さんの現況をご報告いたします。

No2.
乳がん 63歳女性 stage2A
再発・転移予防でVC25を開始
有害事象なし 順調に経過

No 6.
子宮体がん 80歳女性 stage4 (骨転移)
抗がん剤投与中 腫瘍マーカー半減
経過順調 有害事象なし

No7.
大腸がん 54歳女性 stage 4 (肝転移)
水素発生サプリメント服用中
有害事象なし 9/4CEA:2.4 (6/19:8.0)
CT上腹水消失

No9.
大腸がん 79歳女性 stage 3
経過順調 有害事象なし

No10,
胃癌 69歳男性 stage3A
抗がん剤投与中 経過順調

いずれも有害事象はなく、他の治療も併用することができ、QOLの改善とともに、経過が極めて良好な患者さんもあります。

当院では、マイラン社製とVC25を患者さんを選択していただいておりますが、VC25でマイラン社製と遜色なく利用できていますし、患者さんからもクレームなどは出てきていませんので、今後引き続きVC25を使用していきたいと思っています。

VC25に関するお問合せ先



国内産
高濃度ビタミンC
研究用試薬

VC25®

お申込みはコチラ



表1.田中クリニックがん初診患者数

単位：人

年度	初診患者数
2017	106
2018	97
2019	121
2020	90
2021	180
2022	189
2023	180

表2 VC25 使用患者の一覧 (2024年8月19日現在).

No.	年齢	性別	癌種	Stage	体重 (kg)	血中濃度 (μg/ml)	VC25量 (g)
1	51	F	子宮体癌	1A	53	3971	50
2	63	F	乳癌	2A	50	3939.4	50
3	61	M	大腸癌	4	62.5	3756	50
4	55	F	大腸癌	4	47	4525.5	50
5	47	F	大腸癌	4	46	4479.7	50
6	80	F	子宮体癌	4	47	3627.2	50
7	54	F	大腸癌	4	56	4014.7	60
8	46	F	子宮頸癌	3C1	52	3860.8	50
9	79	F	大腸癌	3	55.8	3594.3	60
10	69	M	胃癌	3A	58	3438.2	60

広告

北澤 由紀子先生 が語る

動物への 高濃度ビタミンC点滴と サルベストロールとの 併用治療について

がんを患った動物に
高濃度ビタミンC点滴と天然抗がん物質
「サルベストロール」との併用治療を
行っている、動物病院かねがふちの
北澤由紀子先生に導入のきっかけと
実際の症例について伺いました。



動物病院かねがふち 院長
北澤 由紀子先生

2003年4月に墨田区鐘ヶ淵で動物病院かねがふちを開院。地域に根ざしたホームドクターとしての医療と高度な専門医療の両立を目標としている。

標準治療が合わない動物たちのために…

もともと高濃度ビタミンC点滴に興味を持ったのは、標準治療が合わない動物たちにどのような治療方法があるのかというのがきっかけでした。
サルベストロールに関しても、最初は動物への効果が分からず、導入をためらいました。そこでまずは自分で摂ってみることに。
実は、あまり私自身こういうサプリは合わないが多かったのですが、飲み始めて体調が良くなり動物にも使ってみようと思えました。あとは、作用機序に納得できたことも大きいですね。

高濃度ビタミンC点滴と併用しながらサルベストロールを飲んでいる子たちは、あきらかに元気になり、期待以上に長生きしています。何よりも飼い主さんたちが自発的に続けてくれるので、効果を実感しているのだと思います。

ここで高濃度ビタミンC点滴とサルベストロールを併用した症例を紹介します。

ラブラドル・レトリバー

(雄・去勢/11歳) 脳腫瘍(小脳部)

2021年8月15日がんと診断。小脳部脳腫瘍の影響で、左半身麻痺、ふらつきあり。外見からも腫瘍の盛り上がり確認でき、脳の圧迫が激しい状態。

2021年8月19日大学病院でのCT検査により、放射線治療はできないと診断される。

2022年1月～2023年9月(亡くなる)までサルベストロール服用。

1日1/2カプセルを2週間続けたのち、1日1カプセル服用を継続した。サルベストロール服用前は、週に1、2回の高濃度ビタミンC点滴で、体調がいい状態になったが、服用開始後は3週間に1回でも調子がいい状態を保っていた。

2022年7月末時点で、左半身麻痺がなくなり、元気に歩き回るまで回復。ステロイドを1年使用していたが、血液検査の数値も正常値。

2023年9月に症状が再燃し、2週間後に亡くなったが、それまで体調のいい状態は続いており、主治医、飼い主共にサルベストロールとの相乗効果によりがんが悪化せず、進行が緩やかになったと感じていた。



※イメージです

ダックスフント

(雄・去勢/14歳) 甲状腺がん ステージIV

2020年10月がんと診断。

ステロイド、パラディアでコントロールしていたが、効かなくなってきたためサルベストロールと高濃度ビタミンC点滴の使用開始。パラディアの副作用で、嘔吐や下痢するようになっていた。

2022年4月～8月(亡くなる)までサルベストロール服用。最初1日1/2カプセル服用し、2週間ほどで1日1カプセルに増量。

服用後、がんの進行は見られず、元気で食欲がもどり、全身状態は安定していた。

2022年8月呼吸状態が悪化し亡くなったが、それまでは、体調状態も良くすごせていたと実感。

フラットコーテッド・レトリバー

(雌・避妊/10歳) 組織球肉腫(後肢左膝) ステージIV

2021年11月がんと診断。

診断後すぐ2021年11月～2022年6月(亡くなる)までサルベストロールを服用。

高濃度ビタミンC点滴と併用し、最初1日1/2カプセル2週間、その後、徐々に増やし1日3～6カプセルまで増量。飲むと調子がよくなるため、飼い主の判断で増量していた。

病的に通常1～3ヶ月もてばよい方だったが、7ヶ月生存し、最後までご飯を食べることができていた。

主治医、飼い主ともに体調の良さを実感していた。

●提供元・動物病院かねがふち

国内外で注目を集めるサルベストロール

サルベストロールはオーガニック野菜に含まれる天然成分ですが、体内では生成されず、現代の食生活では不足しがちなもの…そこでおすすめなのが、サルベストロールサプリメントです。
もともと人間用ですが、動物での効果もみられ、動物病院での導入も増えています。副作用もなく様々な治療と併用が可能です。クリニックで提供できる新たながん治療、がん予防の選択肢として国内外で注目されています。

詳しい資料を差し上げます。

お申し込みはこちら



お電話からどうぞ
03-6450-2406
平日 10時～17時

株式会社サルベストロールジャパン



フェリシティークリニック名古屋 院長 河合 隆志先生

【経歴】

- '97慶應義塾大学理工学部卒業
- '99同大学院修士課程修了
- '06東京医科大学医学部卒業
- '06三楽病院臨床研修医
- '08三楽病院整形外科他勤務
- '12東京医科歯科大学大学院博士課程修了
- '13愛知医科大学学際的痛みセンター勤務
- '15米国ペインマネジメント&アンチエイジングセンター他研修
- '16フェリシティークリニック名古屋院長

著書に「見るだけでしつこい痛みがすーっと消えるすごい写真」(アスコム)、「腰痛がラクになる『酵素たっぷり呼吸法』」(笠倉出版社)などがある。

クリニックに導入している点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴 (がん・アンチエイジング)
- アルファリポ酸点滴
- マイヤーズカクテル点滴
- グルタチオン点滴
- キレーション療法(Na-EDTA・Ca-EDTA)
- オゾン療法
- 幹細胞培養上清療法

クリニックの特徴

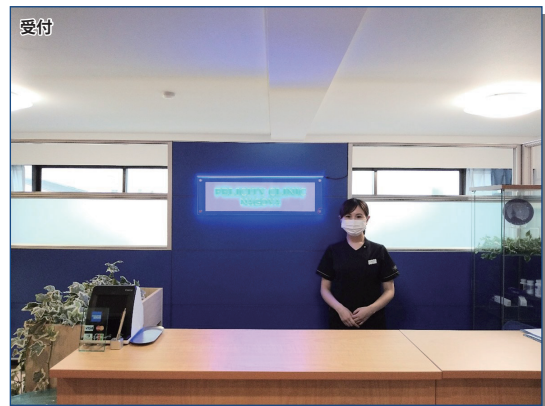
長引く体の痛み(慢性痛)の治療「整形外科痛み外来」、病気の予防と最高の健康状態の実現を目指す「アンチエイジング外来」、「がん統合医療」を3つの柱としています。

慢性痛の診療を続ける中で、痛みのことばかりを考えてしまい、離れられなくなっている患者さんが多いことに気が付きました。もっと健康に、元気になることに目を向ける方が良いのではないかと思うようになり、抗加齢医学の勉強を始め、もう一つの専門になりました。がん統合医療に取り組むようになったのは、開院してすぐ、私の父親が末期がんでであると判明したことがきっかけです。年月が過ぎ、患者さんの状況に応じてより幅広い治療を行えるようになってきました。来院される患者さんの約半数はがんの方です。

点滴や治療において心がけていること

患者さんと少しずつ信頼関係を築き、安心してご相談頂けるよう、お一人お一人に十分な時間を取って診療に当たっています(完全予約制)。専門家として医学的なアドバイスをすることはもちろんですが、あくまで治療を決める主体は患者さんご自身です。まず患者さんのお気持ちをしっかり伺い、どのような治療がベストなのか、できるだけシンプルかつ最大限効果が上がるよう、一緒に考えるように心がけています。

点滴療法はある程度の時間がかかります。患者さんが安心・快適にお過ごし頂けるよう、点滴速度、血管痛のチェックをはじめ、ご体調やご要望(空調やミネラルウォーターなど)にすぐ対応できるよう、気を配っています。また、院内の清掃は徹底して行っています。



クリニック運営において 力を入れている点

まず「一緒に働いてくれるスタッフの物心両面のしあわせを追求する」ことです。一日のうち仕事をしている時間はとても長いものです。それが苦痛であったり、やりがいがなくつまらなかったりするのは、良い日々、良い人生にはなりません。そもそも自分を含めたスタッフが心穏やかで、しあわせでいられなければ、患者さんに良い医療を提供できるはずがありません。

もう一つは、「目の前の患者さんに集中し、大切に
する」ことです。今日の患者さんが多くても、逆にお一人だったとしても、その方に集中できたのか、大切にできたのか。日々反省し、過ごしていきたいと思っています。



マスターズクラブ会員の 先生へのメッセージ

ぜひ一度、
クリニックに
お越しください

点滴療法研究会は素晴らしい研究会です。セミナーはいつも大変勉強になります。日々進化していく抗加齢医学ですが、「実際に、どのような治療をどのように提供するのか」となると、教科書だけでは難しいですし、自分で調べるにも限度があります。**エビデンスはどうなっているのか、安全性は確保されているのか。**これらを具体的に学べる機会はかなり限られており、自分の知の中では点滴療法研究会のセミナーが最も充実している、というのが正直な感想です。

また、**治療における疑問点などを会員の先生方に直接お聞き**することで、これまでどれだけ学ばせて頂いたかわかりません。心から感謝しています。私自身も、少しでもお力になることができればうれしいです。共に頑張りましょう！

フェリシティクリニック名古屋

■電話番号 052-231-5025

■公式サイト <https://www.felicityclinic-nagoya.com/>

■責任者 河合 隆志

■所在地 〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内2-14-19 安藤ビル3・4階

■診療時間 9:00-13:00,14:00-18:00

■休診日 日、月、祝

クリニックの 広告戦略 ～院内販促物の活用～

クリニックにおける広告戦略は、患者様への情報提供と治療法の認知拡大において重要な役割を果たします。一般的な広告やインターネットによる外部への告知も非常に重要ですが、まずは既存の患者様に訴求できる院内販促も、とても有効な手法です。

そこで、点滴療法を院内で効果的に訴求するための手段としておすすめの、デジタルサイネージ(院内動画)、三つ折りリーフレット、ポスターの3つをご紹介します。

これらを活用することで、患者様の点滴療法に関する理解を深め、新たな治療の選択肢としての点滴療法の認知度を向上させることができます。

1 デジタルサイネージ(院内動画)の活用

デジタルサイネージはクリニック内での情報発信において非常に効果的です。一般的にデジタルサイネージは動的なコンテンツを表示できるため、患者様の興味を引きやすく、情報伝達の効率を高めるとわれています。

■おすすめの設置場所：

待合室・処置室・施術室

■期待できる効果：

患者様が自然に目にする場所で、点滴療法の効果やメリットを視覚で情報発信し、訴求することで、治療への興味を喚起し、点滴療法を選択する動機づけに繋がります。



処置室での活用イメージ

2 三つ折りリーフレットの活用

三つ折りリーフレットは、コンパクトでありながら情報量が多く、患者様への手渡しが容易なツールです。待合室での自由な設置、受付での会計時の手渡し、そして診察室での先生からの直接配布など、様々な場面で活用が可能です。

■おすすめの設置場所：

待合室・処置室・施術室

■期待できる効果：

三つ折りリーフレットの設置により患者様の自発的な情報取得を促進し、さらにスタッフや先生からの説明用ツールとして活用することで理解度の向上が期待できます。また、自宅への持ち帰りによってクリニック外での認知拡大や、家族との情報共有による潜在的な患者層への訴求も可能となります。



リーフレットの一例

3 ポスターの活用

ポスターは、点滴療法の効果やメリットを印象付けることができます。クリニック内の様々な場所に掲示することで、患者様の目に留まりやすくなり、院内広告の充実化を図ることが可能です。

■おすすめの設置場所：

待合室・診察室・廊下・エレベーター内

■期待できる効果：

ポスターの視覚的インパクトにより患者様の注目度が向上し、クリニック内の様々な場所での露出増加によって認知度アップが期待できます。ポスターによって興味を持った患者様がスタッフや先生に声をかけやすいような雰囲気作りも重要です。

点滴療法研究会が提供する三つ折りリーフレットを購入いただくと、院内ポスターも付属しています。点滴療法研究会で提供しているリーフレットやポスターのデザインは視覚的な訴求力はもちろん、内容を理解いただきやすいように作成しております。



効果的な院内販促ツールの活用で、点滴療法を人気メニューに！

クリニック内での販促戦略として、デジタルサイネージ・三つ折りリーフレット・ポスターを効果的に活用することは、患者様の点滴療法の認知度や理解度を高めるための有力な手段です。

これらのツールを適切に配置・活用することで、患者様から自発的に「点滴療法に興味があるんだけど…」と声がかかるようになるのがひとつのゴールです。また、これらを設置することで先生やスタッフが患者様に点滴療法についての説明をする時間が削減され効率的になった、というお声をいただくこともあります。

点滴療法研究会がご提供しているデジタルサイネージ・三つ折りリーフレット・ポスターを是非ご活用いただき、点滴療法の認知拡大及び販促にお役立てください。



待合室のイメージ

待合室で点滴療法の魅力を訴求できる！

院内販促 の強力な味方

患者様
向け

高濃度ビタミンC点滴 リーフレットが 新しくなりました！

がん治療編



▲リーフレット

▲A3 サイズポスター

期待できる効果や作用機序、Q&Aなど、がん治療における高濃度ビタミンC点滴の特徴や効果をわかりやすく解説！

美容・

アンチエイジング編



▲リーフレット

▲A3 サイズポスター

高濃度ビタミンC点滴の様々な薬理的効果を、美容・アンチエイジングの観点から解説。幅広い患者層にアピールできます！

15%
OFF!

3大キャンペーン実施中！

A

選べる

セット
リーフレット3種
ポスター

※各100部X3種(6種から選択)
通常：13,440円→11,400円(税込)

B

高濃度ビタミンC点滴療法
(がん治療)

セット
リーフレット1種
ポスター
院内動画

通常：36,480円→31,000円(税込)

C

高濃度ビタミンC点滴療法
(美容・アンチエイジング)

セット
リーフレット1種
ポスター
院内動画

通常：36,480円→31,000円(税込)

11/30(土)
まで！

キャンペーン詳細は、同梱資料をご覧ください。

▼お申し込みはコチラ



最新国内・海外医学情報 PICK UP NEWS

マグネシウム不足が命取り？ DNAダメージによる疾患リスクとの関連

南オーストラリア大学が8月に発表した研究で、マグネシウムの重要性和不足のリスクが明らかになりました。172人の中年成人の血液サンプルを分析した結果、低マグネシウムレベルと高ホモシステインレベルの組み合わせが、DNAダメージと慢性変性疾患のリスクを高めることが判明しました。血中Mgレベルが18mg/L未満の場合、DNAダメージが増加し、アルツハイマー病やパーキンソン病、消化器系疾患、様々ながん、糖尿病などの疾患リスクが高まります。慢性的なマグネシウム不足は細胞機能を損ない、組織の老化を加速させる可能性があります。研究は、全粒穀物や緑色野菜、ナッツなどマグネシウムが豊富な食品の重要性を強調していますが、Mg不足が慢性化している場合や、疾患リスクがすでに高い場合は、サプリメントや点滴が有益だと考えられます。



Dhillon V, Deo P, Fenech M. "Low magnesium in conjunction with high homocysteine increases DNA damage in healthy middle aged Australians," *European Journal of Nutrition*, 2024

がん死亡の半数はコントロール可能な要因が影響

アメリカがん協会の研究者らによる新しい研究によると、米国の30歳以上の成人におけるがん症例の40%とがん死亡の約半数が、喫煙、過体重、アルコール消費、運動不足、食事、感染症などのコントロール可能なリスク要因に起因していることが明らかになりました。リスク要因の中で最も影響が大きいのは喫煙で、全がん症例の約20%、がん死亡の30%に寄与しています。過体重、アルコール消費、紫外線曝露、運動不足がそれに続きます。この研究結果は、予防医療へのアクセス向上や予防措置に関する啓発の重要性を示しており、全国民の約半数ががんに罹患するとされている日本に住む私たちにとっても示唆に富む研究結果です。

Islami F, et al. "Proportion and number of cancer cases and deaths attributable to potentially modifiable risk factors in the United States, 2019," *CA: A Cancer Journal for Clinicians*, 2024

赤身肉・加工肉が若年層の大腸がんリスクに直結

クリーブランドクリニックの研究チームは、60歳未満の若年層における大腸がんリスクの主要因が、特に赤身肉や加工肉に関連する食事由来の代謝物であることを明らかにしました。代謝物とマイクロバイオームのデータを人工知能で分析し、若年発症と高齢発症の患者間の違いを調査した結果、若年の大腸がん患者は、アルギニンの産生と代謝、および尿素回路に関連する代謝物のレベルが高いことが判明しました。これらの違いは、長期的な赤身肉や加工肉の摂取と関連している可能性があります。この発見は大腸がんの予防と治療アプローチに大きな影響を与え、特定の食事や薬剤の効果が今後調査される予定です。また、医師と患者のコミュニケーションにおいて、食事について議論することの重要性が強調されています。ダイエットや体づくりの観点から赤身肉の摂取を推奨する食事法もあります。食すべき肉の種類や、大腸がんのリスクとのバランスは慎重に検討する必要があります。

Jayakrishnan T, et al. "Multi-omics machine learning to study host-microbiome interactions in early-onset colorectal cancer," *Precision Oncology*, 2024; 8 (1)

日本の子供達の不健康な食の現状：総エネルギーの25%が高度加工食品

今年の7月、東京大学の研究チームが、日本の子供と青少年における高度加工食品(HPF)の消費と食事の質との関連を調査した初めての研究結果を発表しました。3歳から17歳までの1,318人を対象に、8日間にわたる詳細な食事記録を分析した結果、HPFは子供の総エネルギー摂取量の4分の1を占めており、HPFの消費が多いほど、野菜・果物・豆類などの健康的な食材の消費は少なく、菓子類の消費が多くなる傾向がありました。日本は欧米諸国等に比べるとHPF消費量が少ない傾向にあるとされていますが、市場は様々な加工食品であふれています。このような調査を定期的に行うことで、日本の将来を担う子供達の食事を見直し、健康な未来のために私たち医療従事者が何をできるのか、考えるきっかけになることを期待します。



Shinozaki N, et al. "Highly processed food consumption and its association with overall diet quality in a nationwide sample of 1,318 Japanese children and adolescents: A cross-sectional analysis based on 8-day weighed dietary records," *Journal of the Academy of Nutrition and Dietetics*; 2024; 6

動画サイト リニューアル

無料でご覧いただける動画が増えました♪



大幅リニューアル！新しく生まれ変わった動画サイトをチェック！



40時間以上のコンテンツを
会員限定で無料で学べます。

2024年7月時点でのコンテンツボリューム

点滴フポイント 34動画 約6時間

特別セミナー 10セミナー 約40時間

※直近3年の特別セミナー動画・一部動画は含まれません。

無料動画の大幅拡充！

過去の**特別セミナー動画**を大量に追加しました。多彩なコンテンツをいつでもどこでもお楽しみいただけます。

使いやすさを改善！

動画サイトを直感的で分かりやすいデザインに改良。**視認性が改善**したことにより快適な視聴環境をお届けします。

新着動画の販売を開始！

直近3年で実施された特別セミナーはオンラインショップにてご購入いただけます。**アップデートされた医学情報**を得ることが出来ます。

視聴方法
3 STEP

- ①動画サイトにアクセス
- ②会員ログイン
- ③動画を選択



〈動画サイト〉

無料セミナー動画例



最新の医学情報が学べる！

直近3年間のセミナー動画はオンラインショップで！



開催年	2023年	2024年	2024年
セミナータイトル			
講演内容	<p>L1: “ネオエイジング(NEO AGING)” GHRP-2/NMNを用いた老化制御と、その臨床応用/問題点を探る 宇野 克明(東京MIT)</p> <p>L2: 臨床における総合ホルモン検査と治療 上符 正志(銀座上符メディカルクリニック)</p> <p>L3: 16時間断食 青木 厚(あおき内科・さいたま糖尿病クリニック)</p> <p>L4: 私が通いたいと思う理想の美容クリニック 高須 英津子(銀座高須クリニック)</p>	<p>L1: 月経血幹細胞の点滴療法 伊沢 博美(神宮外苑WomanLifeClinic)</p> <p>L2: 各種点滴への水素ガス混合による成分保護作用と臨床 辻 直樹(辻クリニック)</p> <p>L3: NAD+点滴療法の実際 松澤 宗範(青山メディカルクリニック)</p> <p>L4: 幹細胞上清液の臨床での使い分け 内藤 洋介(表参道FMクリニック)</p> <p>L5: 高濃度ビタミンCとマイヤーズカクテル点滴の実際 田中 芳夫(いずみ動物病院)</p>	<p>L1: 人生を二度三度楽しめる細胞復活法 姫野 友美(ひめのとみクリニック)</p> <p>L2: NMN点滴とNAD+点滴について(臨床) 青木 竜弥(銀座予防医療クリニック)</p> <p>L3: 幹細胞培養上清療法 野村 紀史(N2クリニックホテル 椿山荘東京院)</p> <p>L4: ヒト臍帯ウォートンジェリー(WJ)幹細胞由来エクソソームの臨床 陰山 泰成(東海大学医学部客員教授)</p>
価格(税込)	33,000円	22,000円	33,000円

2025年新春企画



2025年初旬は、新しい年のスタートにふさわしいセミナーを企画しています。1月の新春フォーラムでは医療の最前線で活躍する、当会を代表する卓越した講師陣が、その知識と経験を惜しみなく共有します。そして3月には日本の最新医療を牽引する5団体が集結します。両セミナー、豪華講師陣でお届けします。乞うご期待！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



点滴療法研究会

新春フォーラム2025

2025. 1.26 日



先駆者から学ぶ 未来を切り拓く知恵と戦略

＜講演＞10：00-15：30 ＜新年会＞15：45-17：30

＜会場＞シティホール&ギャラリー 五反田



最強のアンチエイジング医学2025

2025 **3.16** SUN.

時間 10:00~17:35 (受付開始 9:30)
場所 シティホール&ギャラリー五反田

定員 **100名** (先着順)



点滴療法研究会 柳澤厚生 先生
JAIM 青木晃 先生
JSSCCS 野村紘史 先生
JSPCM 萬憲彰 先生
JSOM 溝口徹 先生

日本の最新医療を牽引する5つの団体が初集結!

後援  JSSCCS 日本臨床培養上清研究会	後援  JSPCM 日本先制臨床医学会	主催  点滴療法研究会	後援  JAIM Japan Society of Anti-Aging Internal Medicine	後援  JSOM 日本オーソモレキュラー医学会
---	--	---	--	--



セミナー詳細は同梱の案内状もしくはウェブサイトよりご確認ください。

2025年 点滴療法研究会 実践セミナー 年間予定



※内容が変更になる可能性がありますので、詳細については随時ウェブサイトにてご確認ください。

日程	セミナー種類	講師	時間
1月26日(日) 会場(東京)	点滴療法研究会新春フォーラム2025	松村 浩道(点滴療法研究会マスターズクラブ副会長 鎌倉元氣クリニック院長) 上符 正志(銀座上符メディカルクリニック 院長) 澤登 雅一(三番町ごきげんクリニック院長) 田中 善(田中クリニック 理事長・院長) 伊藤 信久(グレースメディカルクリニック 院長)	10:00~17:30
2月23日(日) 会場(東京) WEB(オンライン)※会員限定	ベーシックセミナーⅠ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 熊谷 和浩(フジテレビ湾岸スタジオビル診療所 院長)	13:00~18:00
3月16日(日) 会場(東京)	点滴療法研究会 presents 「最強のアンチエイジング医学2025」	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 溝口 徹(みぞぐちクリニック 院長) 青木 晃(ウエルエイジングクリニック南青山 理事長) 野村 紘史(N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長) 萬 憲彰(医療法人医新会よろずクリニック 院長)	10:00~17:35
4月20日(日) 会場(東京)	「歯科診療で導入したい 点滴療法・栄養療法の実際」	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 森永 宏喜(点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 森永歯科医院 院長) 加藤 通子(医療法人明新会かとう歯科医院 理事長)	13:00~17:30
5月25日(日) 会場(東京) WEB(オンライン)※会員限定	ベーシックセミナーⅠ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 喜多村 邦弘(喜多村クリニック 院長)	13:00~18:00
6月22日(日) 会場(神奈川県鎌倉市)	【会員限定】 点滴療法の基本実技講習会(入門編) 「もうはずさない!血管確保の実際」	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 山口 かおる(鎌倉元氣クリニック 看護師長)	10:00~16:00
6月29日(日) 会場(東京) WEB(オンライン)※会員限定	ベーシックセミナーⅡ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 上符 正志(銀座上符メディカルクリニック 院長) 前田 陽子(三番町ごきげんクリニック)	13:00~18:00
7月26日(土) 会場(関西)	関西フォーラム	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 田中 善(田中クリニック 理事長・院長) 他	15:00~18:30
7月27日(日) 会場(関西) WEB(オンライン)※会員限定	スペシャルベーシックセミナーⅠ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 松村 浩道(点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 鎌倉元氣クリニック 院長) 入倉 進(堂島コネクト法律事務所 代表弁護士)	10:00~17:30
9月28日(日) 会場(東京)	秋の特別セミナー	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 他	10:00~18:00
10月12日(日) 会場(東京) WEB(オンライン)※会員限定	ベーシックセミナーⅠ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 松村 浩道(点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 鎌倉元氣クリニック 院長)	13:00~18:00
10月13日(月・祝) 会場(東京) WEB(オンライン)※会員限定	ベーシックセミナーⅡ	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 上符 正志(銀座上符メディカルクリニック 院長) 前田 陽子(三番町ごきげんクリニック)	13:00~18:00
11月9日(日) 会場(東京)	「歯科診療で導入したい 点滴療法・栄養療法の実際」	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 森永 宏喜(点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 森永歯科医院 院長) 加藤 通子(医療法人明新会かとう歯科医院 理事長)	13:00~17:30
11月30日(日) 会場(神奈川県鎌倉市)	点滴療法の基本実技講習会(入門編) 「もうはずさない!血管確保の実際」	柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 山口 かおる(鎌倉元氣クリニック 看護師長)	10:00~16:00
12月7日(日) 会場(東京)	【会員限定】 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会 【会員限定】※受験条件:ベーシックセミナーⅠ・Ⅱ・認定医講習会の受講 高濃度ビタミンC点滴療法認定医試験	石神 昭人(東京都健康長寿医療センター 研究所 研究部長) 澤登 雅一(三番町ごきげんクリニック 院長) 柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長) 前田 陽子(三番町ごきげんクリニック)	10:00~16:00 16:05~16:45

通年受講 WEB(オンライン)	【会員限定】 1日で学ぶキレーション療法のすべて ~導入から実践まで~	上符 正志(銀座上符メディカルクリニック 院長) 澤登 雅一(三番町ごきげんクリニック 院長)	—
	【会員限定】※受験条件:1日で学ぶキレーション療法のすべての受講 キレーション療法認定医試験		—
	【会員限定】 1日で学ぶオゾン療法のすべて ~導入から実践まで~	松村 浩道(点滴療法研究会マスターズクラブ 副会長 鎌倉元氣クリニック 院長) 柳澤 厚生(点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)	—
	【会員限定】※受験条件:1日で学ぶオゾン療法のすべての受講 オゾン療法認定医試験		—
	どうぶつへの点滴療法・栄養療法を臨床から学ぶ	廣田 順子(アリスどうぶつクリニック 院長)	—

会員サービスのご案内

メールマガジンにご登録ください！

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、各種キャンペーンやお得な情報をお送りしております。お見逃しなく！
メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後マイページよりご登録ください！



会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会
日本オーソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲載
- ・会員証発行

クリニック運営サポート スタッフ教育・集患・販促強化

点滴療法の提供体制の構築から、集患や院内販促まで！
クリニックの運営をサポートする商品・サービスをご提供

スタッフ教育

先生方や医療スタッフ向けサポート教材

手技マニュアル



【全99ページ】
点滴バッグの準備から穿刺までの一連の流れやコツを詳しくカラー写真の図解で解説。

手技動画



※USBフラッシュメモリにて頒布
点滴療法をこれから導入する先生や、スタッフの方を対象に、高濃度ビタミンC25g点滴の作成と手技の一連の流れやコツを解説。

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

集患強化

クリニック検索サイト

クリニック検索掲載 & 詳細ページ作成

自院の認知拡大・集患に！



年間検索回数 80,000 回以上！
当会ウェブサイトのクリニック検索一覧にて自院の情報を詳しく掲載。点滴療法を受けたい患者様への強力な訴求ツール。

院内販促

待合室などで患者様の興味と理解を喚起！

リーフレット

(+掲示用A3ポスターつき)



- 全6種 [高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版；美容・アンチエイジング版) / マイヤーズカクテル点滴療法 / 歯科医院における点滴療法 / グルタチオン点滴療法(美容版；パーキンソン病版)]
- ゴム印・シール貼付スペースあり

院内販促動画

デジタルサイネージ



- 高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版)
- 高濃度ビタミンC点滴療法(美容・アンチエイジング版)
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法(美容版)

会員限定 オンラインショップにて販売中！▶



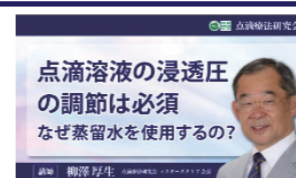
学習サポート

動画学習

スタッフ教育にもオススメ！



無料
新しい
会員サービス



動画サイトはこちら



学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、ログインが必要です。



「症例から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」
Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7

点滴製剤・試薬のご案内

各製剤（試薬）の詳細はこちらから ▶



ビタミン C

Ascorbic Acid Injection

マイラン社

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2~8°Cの冷蔵保管が義務づけられています。当会では、冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイラン社製のビタミンC製剤を推奨しています。

グルタチオン

台湾製グルタチオン

TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社

昨今、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製グルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社である、TAI YU CHEMICAL & PHARMACEUTICAL社製のグルタチオン製剤は、台湾で薬として国に認可されています。

※輸入代行：AOB MEDICAL 社 ※ご購入は、AOB MEDICAL のウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

NMN

完全β-NMN

一般社団法人
NMN 医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。当社団がとりあつかっているのNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

※試薬での提供

NAD+

NAD+ Injection

NAD CLINIC

ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD+）は、抗老化において主要な重要性を持つとされており、これまでにコネキシン43（様々な組織）およびP2X7ゲートドチャネル（神経細胞）を介して細胞内に直接入ることが示されており、点滴でNAD+直接補充しNAD+レベルを上げていくことでエネルギーの増加や代謝改善、認知機能向上、長寿やアンチエイジングなど効果として期待されています。

※試薬での提供

エクソソーム

M2P-Exosome™

AZACLI

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。

M2Pエクソソームは、通常の脂肪由来幹細胞の5,000個に1つのエリート幹細胞のみをセレクトし、それを培養することで抽出します。エリート幹細胞は若く、増殖速度も非常に速いのが特徴で、抗老化に特化したハイスベックなエクソソームといえます。

※試薬での提供

エクソソーム

エクソソーム培養液 プレミアム エクソソーム培養上清液

(株) 医道メディカル

東京大学分子定量研究所および順天堂大学医学部との医療連携のもと、国内では稀有のMISEV基準に準拠した臍帯WJ由来エクソソームを提供。標準化された品質管理、効果の最大化、臨床応用のプロトコル作成、これらに透明性と再現性の確保を実現しています。

※試薬での提供

エクソソーム

高濃度 Re:Right-CELL / 高純度 Re:Right-CELL “培養上清液 - 歯髄由来 -”

株式会社ステムセルテック

医師や関連団体と協力し、培養上清治療の安全普及を目的とした【国際次世代再生医療研究会】を設立し、培養上清治療の臨床結果を収集して、患者様が安心して最適な治療の選択ができる環境を提供するべく、活動を行っています。また、厳格な品質管理のもとで製品を生産し、可能な限り多くの患者様にアクセス可能な価格で製品を提供。美容、アンチエイジング、歯科、医科など幅広い分野で期待されている製品です。

※試薬での提供

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2024.10

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp